

令和2年度ふじみ野市水道事業会計予算の概要

1 総括

本予算は、令和2年度の水道事業に係る予算について編成を行いました。

2 業務の予定量は、次のとおりです。

| | |
|---------------|---------------------------|
| (1) 給水戸数 | 52,852戸 |
| (2) 年間総給水量 | 12,475,700 m ³ |
| (3) 一日平均給水量 | 34,180 m ³ |
| (4) 主要な建設改良事業 | |
| ア 配水管布設事業 | 286,902千円 |
| イ 浄水場改修事業 | 141,769千円 |
| ウ 量水器取付事業 | 60,841千円 |

3 予算規模

(1) 収益的収入及び支出の予定額は、次のとおりです。

収入

| | |
|--------|-------------|
| 水道事業収益 | 1,786,312千円 |
| 営業収益 | 1,655,149千円 |
| 営業外収益 | 131,162千円 |
| 特別利益 | 1千円 |

支出

| | |
|--------|-------------|
| 水道事業費用 | 1,755,441千円 |
| 営業費用 | 1,675,148千円 |
| 営業外費用 | 66,293千円 |
| 特別損失 | 4,000千円 |
| 予備費 | 10,000千円 |

(2) 資本的収入及び支出の予定額は、次のとおりです（資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額508,513千円は、過年度分損益勘定留保資金462,302千円及び当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額46,211千円で補填します。）。

収入

| | |
|-------|-----------|
| 資本的収入 | 155,440千円 |
| 企業債 | 141,700千円 |
| 負担金 | 13,740千円 |

支出

| | |
|--------|-----------|
| 資本的支出 | 663,953千円 |
| 建設改良費 | 453,208千円 |
| 企業債償還金 | 210,745千円 |

4 起債の目的、限度額、起債の方法、利率及び償還の方法は、次のとおりです。

| 起債の目的 | 限度額 | 起債の方法 | 利率 | 償還の方法 |
|--------------------------|---------------|--------------------|--|---|
| 福岡浄水場 第4配水池 耐震補強事業 | 141,700 千円 | 普通貸借 又は証券 発行 | 3.0%以 内。ただ し、利率見 直し方式 で借り入 れる資金 について 利率の見 直しを行 った後 においては、 当該見直 し後の利 率とする。 | 政府資金については、 その融資条件により、 銀行その他の場合には その債権者と協定 するものによる。た だし、企業財政の都合 により据置期間及 び償還期限を短縮し、 又は繰上償還若しく は低利に借り換えす ることができる。 |

5 予定支出の各項の経費の金額を流用することができる場合は、営業費用、営業外費用及び特別損失の間の流用とします。

6 次に掲げる経費については、その経費の金額を、それ以外の経費の金額に流用し、又はそれ以外の経費をその経費の金額に流用する場合は、議会の議決を経なければなりません。

(1) 職員給与費 106,876千円

7 たな卸資産の購入限度額は、4,062千円です。

8 主要施策の状況

(1) 老朽管（石綿管）更新事業を引き続き実施し、併せて舗装復旧工事等を行います。

口径 100～150 ミリ 延長 1,380m うち石綿管撤去延長 1,380m
予算額 283,602千円

(2) 福岡浄水場第4配水池の耐震補強事業を引き続き行います。（継続費設定の最終年度）

予算額 141,769千円

(3) 水源井戸（2か所）の電気設備を、停電時に発電機を接続し、稼働できる改造を行い、併せて発電機及び運搬車両を導入します。

予算額 41,946千円